

第9回 UEJ「大学開放研究会」のお知らせ

平成29年12月2日(土)
於・龍谷大学深草キャンパス紫光館5階第一研修室

第一部 13:30 - 15:00

講演：「イギリス大学開放講座はどのようにして定型化されたか、また、その定型化からみた我が国の大学公開講座の問題」

講師：香川 正弘 司会：河村 能夫

要旨

今日我が国では成人教育の講座が花盛りであるが、学級・講座について議論はほとんど見られない。いったい講座とはなにか、どのように組み立てられるべきものか、といった議論はほとんど論じられない。その成立に関心をもって研究すると、話は17世紀のイギリスに根源があることがわかる。それは、ベーコンの「知は力なり」、ロックの民主導での学習団体の組織化論、「知識基盤社会」を作る原動力となった王立協会等の思想と実践があって初めて成立した成人の学習形態であったことを知ることができた。

我が国では、「知識基盤社会」を作るべきだ、そのために大学開放が必要だ、といわれるようになって、大学の公開講座の重要性が認識されるようになった。しかし、大学開放の講座には、大学教育ゆえの限界があることを認識する必要がある。その限界を超えて発達していくためには、大学開放教育と公民館での学習との間に「高等成人教育」の領域を設定し、地域にある知的専門的人材を活用して運用する民間団体を発達させていくことが重要であると考えられる。

第二部 15:15 - 16:35

共同討議 司会：出相 泰裕
議題

【会費】 資料代等 1,000円 <定員30名>

【申込】 原則として、メールで一週間前までに、①名前、②職業、③連絡先、④共同討議のテーマを記載して事務局へメールで申し込みください。また、研究会の終了後に忘年会を兼ねて、近場で夕食会をしたいと思います。是非ご参加ください。

(申込先) 事務局 shigeto.j.k@gmail.com

講師紹介：香川 正弘 (NPO 法人全日本大学開放推進機構理事長・上智大学名誉教授)

1942年、広島県生まれ。広島大学大学院教育学研究科博士課程単位取得中途退学、1987年「イギリス大学拡張成立史研究」で教育学博士(広島大学)、文部科学省中央教育審議会専門委員(第1-2期)。現在上智大学名誉教授、NPO 法人全日本大学開放推進機構理事長、コミュニティ・アカデミー上職代表。専門分野は大学開放。趣味は地域探訪。主著に上杉孝實・河村能夫と共編『大学はコミュニティの 知の拠点となれるか』ミネルヴァ書房、2016年)、鈴木真理・永井健夫と共編『よくわかる生涯学習』(同前)。2015年より広島にてコミュニティ・アカデミー上職を主宰している。